＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」スマートシティ推進事業

## 1 事業概要

【目的】
持続性のある地域づくりのため、スマートシティの取組を推し進め、市民が誇れる夢と希望のまち熊谷を目指します。

【内容】
・熊谷まちあるきアプリくまぶらを「市民向けサービスの入口」に位置づけ、各サービスとの連携やコンテンツの充実を図り、市民生活の利便性を高めます。
・気象データを使ったシミュレーションを行い、市民が暑さと共存しながら健康を守る行動変容を勧奨します。（スマホサービスによるシミュレーション結果の配信や休憩場所の表示等）
・各サービスの利用履歴などを市民参加型により分析し、サービスの利用促進や改善、地域課題の解決に向けた施策の立案に活用します。

その他、まちの賑わいと魅力を創出し、市民にも来訪者にも、やさしく快適なまちづくりに寄与する取組を進めます。

【効果】
まち・住まいの暑さ対策スマートパッケージの展開とデジタルコミュニティツールの導入で、市民参加とデータ活用によるまちづくりを目指します。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
地域の課題解決のため、公（行政）・民（企業・団体等）・学（学術機関）が一体となって、データを活用したまちづくりを進めています。

熊谷市公式 LINE

## 3 その他

令和４年度、熊谷スマートシティ推進協議会ではデータ活用部会を設立し、学識者や民間事業者との意見交換を行っています。また「くまぶら」を活用したスタンプラリーイベント等により、「くまぶら」の利用促進に取り組んでいます。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　市原・大澤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　228・528

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**電子地域通貨発行事業**

## 1 事業概要

【目的】
市外に流出している消費を囲い込むため、市内の加盟店のみで利用できる電子地域通貨を発行し、地域経済の活性化、市内のキャッシュレス化の推進を図ります。

【内容】
まち元気商品券として紙で発行していた地域通貨をデジタルの地域通貨として発行するため、システムを構築します。
また、初年度は１０月を目途に２５％のプレミアム付電子地域通貨を販売し、利用者の増加、加盟店の拡大を図り、市内に電子地域通貨を早期に根付かせます。

【効果】
・市内経済の活性化
・市内のキャッシュレス化
・コミュニティ機能としての活用

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
電子商品券という性質を活用し、市の様々な事業に活用できるシステムを構築し、スピード感をもった運用が可能となります。

【ＰＲポイント】
電子地域通貨システムの導入に際し、加盟店になる店舗がキャッシュレス機器を導入する場合に、１店舗１０万円を上限に補助金を交付します。
（大手事業者等対象外となる事業者があります）

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　柳川
連絡先　048-524-1111　　内線　499

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**ウェルビーイング推進事業**

## 1 事業概要

【目的】
本市のスマートシティ推進によるまちづくりについて、市民の心ゆたかな暮らしの実現を図るものとなるよう、客観的な指標の設定を行います。

【内容】
令和５年度は、市民等とのワークショップを通じて、市民の視点から市民が望む「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化し、本市の特性に沿ったウェルビーイング指標を設定し測定します。

【影響】
現在の取組について客観的な視点で検証することで見直しを図ることができます。また、新たなアプローチで市民及び団体との連携を図ることができます。

【効果】
測定結果等の客観的データに基づいた政策立案や検証を行うことができ、より効果的な施策の実施を図ることができます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
データにより地域の特性と現状を把握することで、まちづくりの構想を論理的に考えることができます。

【ＰＲポイント】
自治体ランキングではない客観的できめ細やかな指標により、地域の個性をとらえて磨くことができます。

## 3 その他

国が掲げているデジタル田園都市国家構想の実現に向けて、各地域がこれらの指標を活用することが期待されています。
実施市：会津若松市、浜松市、高松市

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　服部
連絡先　048-524-1111　　内線　214

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**DX推進計画策定事業**

1 事業概要

【経緯】
今般の新型コロナウイルス感染症への対応においては、様々な面で行政におけるデジタル化の遅れが顕在化したことを契機として、国によるデジタル社会の実現に向けた方針や計画等が示され、住民に身近な行政を担う市区町村においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する意義は大きなものとなっています。
令和５年度末をもって現在の「熊谷市情報化推進計画」が計画期間を満了することから、新たに令和６年度からの５か年を計画期間とした「(仮称)熊谷市DX推進計画」を策定します。

【目的】
様々なデジタル技術の進展や市民の生活様式の変化、ますます多様化する行政ニーズに対応するため、新たな熊谷市のデジタル化の道筋となる推進計画を策定し、市民や当市の行政サービス利用者の利便性向上を図ります。

【事業概要】
・現計画の総括実施及び現状や不足点等の評価、分析
・国の重点計画や自治体DX推進計画が示す取組に対する本市の現状や課題等の整理
・アンケート等による市民（利用者）ニーズの把握、分析
・目的(意義)の明確化及び効果や実行性評価を踏まえた具体的取組の精査と体系的整理

2 特徴やPRポイント

・上位計画である第2次熊谷市総合振興計画(後期計画)の基本構想を実現するため、DXの側面から補完する計画とします。
・外部事業者の専門的知見や分野を問わず広く保有する事例情報等を有効に活用するほか、市職員によるワーキングチームを立ち上げ、庁内の幅広い意見の収集や個別施策の調査、研究を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部デジタル推進課　　担当　森
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　490

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

**戦略的人流データ活用事業**

## 1 事業概要

【目的】
花火大会やうちわ祭、ラグビーをはじめとするスポーツイベント等に参加している観光客の年齢、出身地等を把握し、ニーズに合った事業を実施します。また、中心市街地における「歩行者・自転車通行量調査」、商圏の分析等を行い、中心市街地活性化施策や効果的な商工振興施策のプロモーションに活用します。さらに、まちなかにおける歩行者・自動車の交通量などを把握し、滞在の快適性向上の効果的な施設の誘致や配置などを行い、まちなかウォーカブルの推進につなげることを予定しています。

【内容】
携帯電話会社が保有している携帯電話利用者のGPS位置情報や属性（性別、年代、出身地等）の情報を基に、人口統計等を参照して拡大推計した人口データを、特定の区域を指定した上でデータを取得します。

【効果】
実態を把握することにより、今まで概数でしか把握できていなかった入込客数を把握することができます。また、入込客の出身地、年齢、性別等を把握し、事業マネジメントに活用し、効率の良いプロモーション戦略が可能となります。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
日時、期間、場所等を指定することができるため、より詳細で必要としている情報の取得が可能となります。
【ＰＲポイント】
他市で行われたイベント、施設等を対象とすることで、今後計画・実施していく事業においてマネジメントに活用できます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　総合政策部スポーツ観光課　　担当　小島
連絡先　048-524-1760　　内線　391

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**橋りょう点検DX化事業**

## 1 事業概要

【目的】
道路法で義務付けられた５年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業の効率化、コストの削減を図ります。

【内容】
現在、橋りょう点検車や梯子等を使用して行っている橋りょう点検作業について、点群データによる３Ｄモデルを作成し、３Ｄモデル上で損傷状況等の確認を行うことにより、点検業務の効率化やコスト削減を図ります。
令和５年度は、デジタル技術を活用した点検作業による実証実験を行い、令和６年度以降の本格導入に向けた課題の抽出等の効果検証を行います。

【効果】
点検作業をより効率化することにより、橋梁点検にかかるコストを削減することが可能となります。
また、点検時の交通規制や危険作業の軽減により、点検作業の安全性の向上や、交通規制時の市民生活への影響を減少することができます。

## 2 特徴やPRポイント

熊谷市の管理橋梁数は１，０００橋を超えており、点検作業の効率化やコスト縮減を図ることが大きな課題です。他の自治体に先駆け、橋りょう点検のＤＸ化を進めることにより、コストの削減等に取り組みます。
また、３Ｄモデルの作成には大がかりな機材等は使用せず、令和４年度に新たに国土交通省の点検性能技術カタログに掲載された、市販のカメラ等により撮影された画像により３Ｄモデルを作成する新技術の活用を想定しています。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　建設部維持課課　　担当　金子
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　543

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**都市空間情報デジタル基盤構築事業**

## 1 事業概要

【目的】
官民連携による３Ｄ都市モデルの整備、データの活用、オープンデータ化を推進します。

【内容】
都市計画、防災、環境分野等において利活用が期待されている「３Ｄ都市モデル」について、より精度の高いシミュレーションが可能となる情報量に更新します。また、「３Ｄ都市モデル」を活用した各種シミュレーションに取組むほか、データの蓄積・オープンデータ化を進め、官民で利用可能なＷｅｂＧＩＳを整備します。
あわせて、地理空間データの利活用（ユースケース）の可能性を調査するとともに、市民の利用を見据えた新たな機能の開発(プラグイン)について検討します。

【影響・効果】
デジタル技術を活用したシミュレーションにより、まちづくりや景観、まちなかの熱環境、災害リスクなどの課題を可視化し、効率的な行政業務が可能となります。
また、オープンデータ化によって、市民への情報提供や民間ニーズの掘り起こし、活用促進を図ることで、市民のまちづくりへの参画が期待できます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
熊谷市では、国のモデル事業として令和３年度に「３Ｄ都市モデル」が整備され、スマートタウン整備に向けたシミュレーション等に活用しています。「３Ｄ都市モデル」の高度化を図り、データの整備・活用・オープンデータ化を推進することで、データに基づいた市民目線の政策立案を推進します。

【ＰＲポイント】
ＷｅｂＧＩＳの操作体験講習会や市民向けワークショップを開催することで、市民への情報提供及び利活用を促進します。

## 3 その他

「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業(国土交通省所管)」の埼玉県内活用実績
・令和４年度　　２市［さいたま市、戸田市］
・令和５年度（予定）　２市［熊谷市、さいたま市］　※県内３番目

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　都市整備部都市計画課　　担当　小谷、小森
連絡先　0493-39-4813(直通)　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**公共交通オープンデータ化推進事業(総合交通体系整備促進事業)**

## 1 事業概要

【目的】
市内循環バス「ゆうゆうバス」のバス停や乗降者数等をオープンデータ化し、利用者等の利便性の向上及び、利用機会の増加を図ります。

【内容】
国際的に広く利用され、バス事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受け渡しのための共通フォーマットであるGTFS(General Transit Feed Specification)データの整備・公表をします。

【効果】
共通フォーマットによりデータを公表することで、経路検索サービスにバス停の位置やダイヤ等の状況が反映されて公共交通の利用促進につながることや、官民連携によるまちづくりの検討や民間事業者等による新ビジネスの創出が期待されます。

## 2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
コミュニティバス（ゆうゆうバス）については、一部検索サイトに対応していないため、GTFSを整備し、オープンデータ化することで、多くの検索サイトで自宅からバス停、バス停から目的地までの経路結果を一元的に示すことができます。そのことにより、市民や来訪者へも分かりやすく目的地までの経路を案内することができるようになります。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　白根、蟻川
連絡先　048－524－1115　　内線　529